

2021年3月4日

森ビル株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

## 森ビルとあいおいニッセイ同和損保が、オンライン親子学習プログラムを共同開催 災害時の行動を実践レベルで学べる『安全と安心のヒミツ探検ツアー』 ～実験教材やアプリを活用して、親子で自宅で震災対策について学ぶ～

森ビル株式会社(以下、森ビル)とMS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(以下、あいおいニッセイ同和損保)は、2021年3月27日(土)に、「ヒルズ街育プロジェクト」のオンライン特別企画として、「震災対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー」を共同開催します。

森ビルの親子向け体験学習プログラム「ヒルズ街育プロジェクト」に、自然災害による被害をリアルタイムで予測し、防災・減災に役立てるウェブサイト「cmap(シーマップ)」を提供するあいおいニッセイ同和損保の知見を加えることで、従来の「安全と安心のヒミツ探検ツアー」をバージョンアップ。東日本大震災から10年を迎える本年3月に、自宅にいながら親子で震災対策について考える機会を提供します。



六本木ヒルズの備蓄品を例に、「備え」の大切さを学ぶ



実験教材「紙ぶるる」を使い、「建物の安全・安心」を学ぶ



被害予測アプリ「cmap」を使い、有事の際の行動を学ぶ

ツアーでは、レクチャー形式で街(ヒルズ)を挙げた震災対策について解説しつつ、事前に自宅に送付される「実験教材」や「ヒミツの備蓄キット」などを実際に手にとって学んでいきます。また、震災対策クイズやチャットによる質問コーナーなど、オンラインならではの双方向コミュニケーションも積極的に取り入れ、安全・安心な「街」や「建物」、「日々の備え」について楽しく深く学んでいきます。さらに、今回は「cmap」のスマートフォン/タブレット用アプリにより、被害状況や避難場所を把握する体験を新たに追加することで、有事の際に役立つ、より実践的な行動について学びます。なお、あいおいニッセイ同和損保役員募金「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」より、参加者に配布される教材や防災グッズを支援します。

### 「ヒルズ街育プロジェクト」オンラインプログラム概要

- ツアー名 : 震災対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー
- 日時 : 3月27日(土) 13:00～14:10、15:00～16:10
- 対象 : 小学校 新4～6年生のお子様とその保護者 ■ 参加費 : 無料
- 募集人数 : 各回40組(定員を超える応募があった場合は抽選とさせていただきます)
- 申込方法 : ヒルズ街育プロジェクトホームページより申込  
<https://www.mori.co.jp/machiiku/tour/detail.html?tourId=online202103>
- 申込期間 : 3月4日(木)11:00～3月17日(水)12:00

東日本大震災から10年となるこの機に、森ビルとあいおいニッセイ同和損保とがタッグを組むことで、全国の親子の防災意識向上に貢献いたします。

## <「震災対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー」詳細>

レクチャーとワークショップで構成される、約 70 分のオンラインプログラム。参加者の自宅に、地震の揺れを学ぶ実験教材「紙ぶるる」と、六本木ヒルズに備蓄されている震災備品の中からチョイスした「ヒミツの備蓄キット」を事前に送付することで、オンラインプログラムでありながら、実際に教材を手にとり、体験を通じた楽しい学びをご提供します。また、被害予測アプリ「cmap」を活用し、有事の際の行動に役立つ学びを提供します。さらに、プログラムを通じて様々なクイズを出題したり、チャットによる質問コーナーを設けたりすることで、オンラインならではの双方向コミュニケーションを積極的に取り入れてツアーを進行します。

### ■レクチャー：安全・安心な「街」のヒミツを学ぼう

地震が起きた際に想定される被害や、地震に強い街づくりについて、模型を使いながらわかりやすく解説します。自分が住んでいる街のことを想像しながら、安全・安心な街について親子で一緒に考えます。



### ■ワークショップ①：安全・安心な「建物」のヒミツを学ぼう

実験教材「紙ぶるる」を使って、建物を自分の手で揺らしながら、地震の揺れと建物の高さとの関係や、地震に強い建物を建てるための工夫などについて学びます。

### ■ワークショップ②：安全・安心に過ごすための「備え」のヒミツを学ぼう

被害予測アプリ「cmap」で、過去の災害を事例に、建物の被害状況を考察するとともに、自宅周辺の避難場所を調べ、防災対策を学びます。

また、六本木ヒルズに備蓄している様々な備蓄品を詰め合わせた「ヒミツの備蓄キット」を使って、備えておくべき備蓄品の種類や使い方などについて学びます。



## ヒルズ街育プロジェクトとは

創業から約 60 年にわたり地域の皆さまとともに街づくりを推進してきた森ビルが、街づくりの豊富なノウハウを、未来を担う子どもたちに伝えるとともに、楽しく学びながら、次世代の都市のあり方を考える機会として実施している親子向けプログラムです。六本木ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、愛宕グリーンヒルズなど、本物の“街”を“生きた教材”として活用し、森ビルが街づくりで大切にしている「安全・安心」「環境・緑」「文化・芸術」をテーマにしたプログラムを実施することで、街づくりを考えるきっかけを提供しています。

2007 年の開催以降、延べ約 15,000 名の方々にご参加いただきました。一般公募によるプログラムの実施だけでなく、近隣小学校の授業の一環として同プログラムをご活用いただくことで、地域コミュニティにおける子どもの学習機会の創出にも貢献しています。

## リアルタイム被害予測ウェブサイト「cmap」とは

「cmap」とは、台風、豪雨、地震による被災建物数を予測し、無償で一般公開するサイトです。台風は上陸前から（最大 7 日先まで）、豪雨、地震による被害が発生した際は被災直後から、被災建物数、被災件数率を市区町村ごとに予測し、地図上に表示します。

24 時間 365 日、降水状況、風向、天気予報などの気象情報や、震度 3 以上の地震の発生状況を cmap 上で確認することができます。さらに、ハザードマップ表示機能（浸水想定、土砂警戒・危険）をいつでもご利用いただけます。

また、被害予測アプリ「cmap」は、災害に関する緊急情報（気象警報・避難勧告等）の通知機能を備えたスマートフォン／タブレット用アプリです。登録した郵便番号に基づいて自治体指定の緊急避難場所を地図上に表示する機能があり、外出先でも気軽に確認ができます。お住まいの地域のリスクについて日頃から把握し、防災、減災にご活用ください。

## ◎森ビルの取組み

森ビルは、東京・港区を拠点として都市再開発事業を行う総合ディベロッパーです。職・住・学・遊・憩などの様々な都市機能が集約されたコンパクトシティを創り、育むことで、首都・東京の磁力を高めていくことを目指しています。都市づくりの重要なテーマとして「安全・安心」を掲げ、「逃げ出す街から逃げ込める街へ」をコンセプトに、ハード・ソフト両面において、災害に強く、周辺地域の防災拠点となる街づくりを進めています。

特に、六本木ヒルズでは、建物自体を地震などの災害に強くするために、法定を上回る独自の耐震基準を採用するほか、3重のバックアップにより災害時にも安定した電気供給を可能とするエネルギープラントも設置。さらに、地区内には非常時の飲用水や、トイレ洗浄水および消防用水等を確保する災害用井戸や、非常用の水や食料を10万食分備蓄する備蓄倉庫などを備えています。また、港区と「災害発生時における帰宅困難者の受入れ等に関する協力協定」を締結し、約5000人の帰宅困難者を受け入れる体制を整備し、地域の防災拠点としての役割を担っています。



超高層タワーには高度な制振装置「オイルダンパー」を356台設置



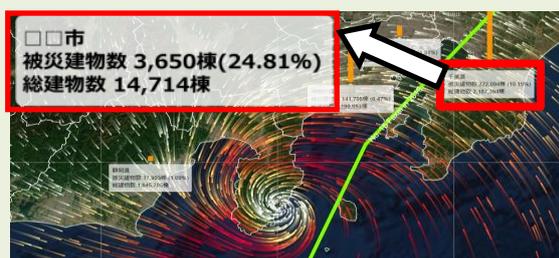
独自のエネルギープラントを備え、災害時でも安定的な電力供給が可能



発災時の現場対応力向上の為継続的な防災人員育成に取り組む

## ◎あいおいニッセイ同和損保の取組み

あいおいニッセイ同和損保は、先進性・多様性・地域密着を追求し、明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする「特色ある個性豊かな会社」を確立することを目指しています。テレマティクス自動車保険のパイオニアとして「先進性」を追求し、誰もが安全・安心に暮らせる地域・社会づくりに取り組んでいます。事故対応においては「テレマティクス損害サービスシステム」、「24時間365日事故対応サービス」、「cmap」などを開発しました。「cmap」の取組みは高く評価され、第29回地球環境大賞において「大賞」を受賞しました。



被災建物予測棟数・被災件数率の表示イメージ



ハザードマップ（浸水想定）と降水地域を重ねたイメージ

### あいおいニッセイ同和損害保険 「MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ」

当社および関連事業会社を含む役員一人ひとりが社会貢献できる任意の募金制度で、広く社会に貢献することを目的として、2001年度に設立されました。主旨に賛同した有志社員による寄付（毎月1口100円から）と、会社からのマッチングギフトで運営しており、活動方針である「子ども」「環境(生物多様性)」「保険会社らしさ(防災・医療)」「あいおいニッセイ同和損保らしさ(地域密着、障がい者支援)」に沿った寄付・寄贈活動を行っています。